

ハートフル・メディカル旬報

岡税務労務会計事務所

TEL 092-851-3689

FAX 092-851-7403

医療経営者のための経営学

これからの開業医

- 開業医が現在抱えている悩みや不安、トラブルについて、医業収支や人事・労務、患者との関係など、様々な運営面の不安を抱えている。
 - 診療報酬のマイナス改定や患者負担率のアップなど医院経営を圧迫する政策ばかりで、収支は悪化の一途である。
 - 2002 年 4 月に投薬期間の制限が撤廃されたことで、患者の来院頻度が減って 1 人当たりの単価が減少している。
 - 近隣に診療所の開業が相次ぎ、競争が激化。そのあおりを受けて患者が大幅に減少した。
- 各開業医が経営を安定させるためには、どのような対策が考えられるのだろうか。
 - 生活習慣病などの予防医療に注力する。
 - グループホームや訪問介護などの介護サービスへの参入を検討する。
 - ケミカルピーリングなど保険外診療を広げる。

以上のように開業医が今後考えるべき点は、予防医療や介護サービス、保険外診療を拡大し、増収を図ることだ。
(参考:「日経ヘルスケア 21」2005 年 9 月号)

医療経営者のための理念 哲学

医療は変化が激しい

- 医療とは何かは、法律(医療法)には定義されていません。定義しないのではなく、定義できないのです。その理由は、医療は日進月歩の科学技術の影響と、経済情勢の影響を強く受け、変化が著しいからです。また、国民の価値観の変化や、生活の質向上に応じて、あるいは、その水準以上に、医療に求める質が常に上がるからです。
- つまり、医療は極めて文化性が高く、国や地域により、時代により大きく異なるのです。医療制度が常に大きく変化を続けている理由もここにありま。そのため、医療制度は、常に改定されるために、極めて複雑になり、一般国民はもとより、専門職にとっても理解しにくいものとなっています。

(参考:飯田修平「病院早わかり読本」医学書院)

行政からの情報

2004 年度医療費は前年度比 2.0% アップ

- 厚生労働省は 8 月 10 日、「2004 年度医療費の動向」を示した。それによると、2004 年度の医療費は約 31 兆 4000 億円。前年度比 2.0% 増で、金額にして約 6000 億円の増加だった。
- 医療機関の種類別の 1 施設当たり医療費(単位:百万円)

	大学病院	公的病院	法人病院	個人病院	診療所	保険薬局
2003 年度医療費	11261	3754	1256	613	91	90
2004 年度 "	11349	3764	1275	637	92	94
伸び率(%)	0.8	0.3	1.5	3.9	1.5	5.0

3. 診療科別の診療所 1 施設当たり医療費(単位:百万円)

	内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科
2003 年度医療費	9153	7002	9466	11229	7443	5836	9508	7134
2004 年度 "	9341	7112	9530	11243	7511	5842	9605	7446
伸び率(%)	2.1	1.6	0.7	0.1	0.9	0.1	1.0	4.4

(2005 年 8 月 10 日 現在)

古典に学ぶ

自分の主体性を守って生きる

「古^{いにしへ}の身を存する者は、弁^もを以って知を飾らず、知を以って天下を窮^{きわ}めず、知を以って徳を窮^{きぜん}わず、危然^あとしてその所に処りその性に反^{かえ}るのみ」

(訳)昔、厳しい乱世の中で、身を全うした人々は、どんな生き方をしたのであろうか。まず、つまらないおしゃべりで知識をひけらかそうとはしなかった。また、ごさかしい知識で世の中の動きを知りつくそうとしたり、自分本来のあり方を究明しようとしなかった。そして、自分の境遇に安んじて、ひたすむ無為自然の道を実践することにつとめたのだという。

(参考:守屋洋「老子・荘子」): P H P 研究所

